平成30年度第2回

北海道中山間ふるさと・水と土保全対策委員会議事概要

開催日時:平成30年12月17日(月)10時~12時

場 所:道庁7階農村振興局会議室

出席者:5名 委員(2名)、事務局(3名)

1 開会

2 あいさつ 農政部農村振興局農村設計課 農村活性化グループ主幹 服部 聖

3 報告

- (1) 今年度の事業スケジュールについて
- (2) 指導員の委嘱について
- (3) 新規地区の採択について資料に基づき、(1) ~ (3) について報告した。

4 議事

(1) 地域活動支援事業について

資料に基づき、地域活動支援事業について説明した。

委員にいただいた主な御意見は次のとおり。

[別海町別海地区]

- •3年間通して酪農女性のネットワークづくりが進まなかった原因について、団体の 次の活動につなげていくためにも整理が必要。
- ・自家の酪農が忙しく、ハーブ畑づくりと農繁期が重なるため、気持ちに余裕がなく 「やらされている感」を持ってしまったように感じる。
- ・ハーブ栽培は事業が終わっても続けていきたいということだが、ネットワークづくりの方も続けてもらいたい。
- ・意見交換でも「やって良かった」「続けたい」という前向きの感想もあったので、 そういうような活動を続けていけば良いと思う。
- ・ここは今年で終了なので評価を行うが、振興局の方に、会のメンバー個別に事業を やってどうだったかを聞いてもらいたい。良かったことも、悪かったことも。メン バーの方が話しやすいよう、できれば若い女性の職員に。

[七飯町七飯地区]

・懸案だった活動継続のための資金調達についても、研修会などの参加料を徴収することや、助成金を活用することを考えている旨を意見交換会で伺った。

事業により活動を行って、成果がはっきり見えたことで自分達の活動の意義を 改めて確認できたとのこと。来年度以降の活動内容も決まってきており、HP作成 もメンバーの中に詳しい方がいるので安心。 ・NPO 化は考えていないのだろうか。色々依頼が来たときなど、NPO 化して料金としてしっかり稼いだ方が今後の活動継続につながると思う。

[岩見沢市北村豊正地区]

・この地区は、メンバー間の温度差や地域の農家との連携等、検討していかなければ ならない部分があるので、現地調査の時に話を聞きたい。

[根室市厚床地区]

・1年目の活動として、今回の防災キャンプが地域を考えるための次に繋がる活動に なったということですね。

[上ノ国町上ノ国地区]

- ・この地区は、ヒアリングを行う前までは JA の販売促進みたいな色が強いのかなと 思っていたが、もっと地域全体で取り組むという雰囲気があった。
- ・意見交換のときに学校給食のことなど意見を出したが、計画書の内容に反映されて いない。

[由仁町由仁地区]

- ・地区の課題を見ると、テクニカルな部分を解決したいという内容ばかり。「将来的 に地域としてどうなりたいか」を決めてほしい。
- ・今後ヒアリングなどの機会はあるか。書類だけではわからないこともあるので、是 非直接会ってみたい。
- ・卒業制度があることで、意見も出しやすく、面白くやりがいがありそうで良いとは 思う。でも、地域の人との連携が薄いのでは。メンバーの層が厚くなることのメリットもあると思うので、もう少し柔軟だと良いのでは。地域活性化の事業なので、 そこも考えていただきたい。
- ・やる気は感じるが、広がりがないのがもったいない。40歳以上になったら卒業、ではなくてサポーターになるとか、消費者を入れるなどしたら面白い活動ができると思う。

(2) 研修事業について

資料に基づき、研修事業について説明した。

(3) 別海町別海地区、七飯町七飯地区及び岩見沢市北村豊正地区に係る評価スケジュールについて

資料に基づき、3地区の評価スケジュールについて説明した。

(4) その他

資料に基づき、今期事業実施計画の実施状況及び次期事業実施計画策定への準備について説明した。